

S S T K

社会福祉法人 埼玉のぞみの園

法人だより No.27

編集人 埼玉のぞみの園法人本部 埼玉県深谷市本田3343 編集責任者 理事長 山崎勝
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 埼玉県川口市芝新町15-9アステール藤野1階

領価 50円

職員のさまざまな働き方を考える私案

社会福祉法人埼玉のぞみの園 理事長 山崎 勝



事の経緯

近年の新卒女子職員の増加にはちょっと驚いています。私が埼玉のぞみの園に奉職した当時は、一般的に男性職員のほうが多かったように記憶しています。しかし近年は女子職員が圧倒的に多いのです。福祉の学部を持っている大学等においても女子生徒のほうが多いように聞いています。このことは女性の優しさと社会参加に大いに関係するところではないかと思うのです。

また、数年前から高齢者(特に定年後の職員)の就労について、活力のある職員を年齢でもって切ってしまうのはもったいないと考えていました。働く能力と気力のある方にはなお一層頑張ってもらいたいことがよいのではないかと思う次第です。

それやこれやがあって、法人として職員が安心して長く働ける土壌を作っていかなければならないという思いから、令和元年度の私の取り組みとして記して行く事といたしました。

序文

1、初めに
春陽の里の開園により、職員総数は190名を超える法人となった。近い将来200名を超えそうな勢いであり、様々な形態の職員が現存する。

そのような中で、職員が勤務しやすい体制や利用者支援に支障のないような支援体制を模索していく必要があると感じ、考察していくものです。

2、現行の課題

①高齢者の働き方(h31.3.31現在)
本法人においては60歳定年を機に継続雇用制度(平成21年4月施行)を実施しています。しかし正規職以外の職員数は126人/182でパート職員の力に依るところが多いと感じています。65歳以上の方は30人/182とパート職員の23.8%に及んでおり、総体的にどこの事業所もこの傾向が見られます。しかもまだまだ元気に勤務されており、単にパート雇用というより、有益な人材については準正職あるいは嘱託級の雇用を考慮したほうが、責任感や積極性を発揮してくれるのではないかと考える次第です。

②子育て対応

法人では若い女子職員の増加や複雑な状況下でのいろいろな子育て世代が大幅に伸びることが予想されます。現在制度に則った施策は勿論、小学生以下の子を持つ母親の夜勤免除を行っていますが、実は30年度にははぐくみ会との企業内保育所も検討を試みました。しかし制度が厳しくなることや継続性の面から、他の道を模索したほうが妥当であると判断した経緯があります。

こうしたことから、保育料や学童保育についての助成を検討したほうが直近では現実的になってきていると考えます。

③外国人介護人材確保

今年から新たな外国人技能実習生制度が施行され、福祉分野にも多くの人材が来られるのではないかと考えられます。当法人においては令和元年(2019)から受け入れを進めて行く事となりましたが、今後外国人を安い人件費で雇うと言うのではなく、異文化を知りながら楽しく仕事を。適正に真摯に受け入れていくことが必要と思います。

④障害者雇用

障害者施設でありながら障害者雇用が進まない現状がありました。昨年から現在まで2名の方が新たに雇用できましたが、障害者が働くと言うことをもう少し考えられたらいいと思います。

⑤人事組織の活性化の為に

現段階での人件費比率は概ね良好に保たれています。しかし、報酬単価の実質引き下げは毎年進行しているのが実情であり、10年後も現状を維持しようとしても無理な状況です。その為には限りある財源をその成果に応じた配分方法に変えていかなければ無理が生じます。

そこで、管理職・監督職・一般職の給料区分を30年度から実施したわけですが、経験の長い職員が在籍していることにより、新しい有能な人材が伸びづらい面も場合によってはあり、所謂ボトルネックと化してしまう場合も多々あると考えます。

よって勤怠と資格を有しているものは昇格し、経験年数に見合わない業務ぶりには後進に道を譲ることも組織の活性化につながると思います。(中面へ続きます。)



木附 香墨 (春陽の里配属) 好きな言葉... 「今が一番若い」 未来から考えると、今が一番若いので、今日という一日(86,400秒)を大切に、日々を充実したものにしていこうと考えます。	笹井 康宏 (第2春日園配属) 好きな言葉... 「笑顔」 利用者の皆様や職員、自分も含め、たくさんの笑顔が見られる様な支援をしていきたいです。	黒澤 壮 (春日園配属) 好きな言葉... 「利用者ファースト」 特に好きな言葉という訳ではないですが、仕事をやる際に常に心掛けています。	白石 弘子 (のぞみの園ホーム配属) 好きな言葉... 「感謝」 当たり前のように感謝する気持ちを忘れないことが大切だからです。皆様との関わりを大切にします。
--	---	--	--

令和元年入社
埼玉のぞみの園
新任職員紹介

後援会 ご協力者様

順不同・敬称略にて御容赦願います。
平成31年4月5日 令和元年11月1日現在

法人にご寄付
ご協力者様

順不同・敬称略にて御容赦願います。
平成31年4月5日 令和元年11月1日現在

清水弘	若井正弘	濱川次男	石井傳二	瀬間儀一
新井玉枝	佐藤光雄	鈴木綱子	二階堂清江	長谷川高雄
田島美佐江	海野昭子	富田和朗	杉田敏夫	加治修一
原田はるみ	島田茂	青柳聖紀	金子順子	澤田栄二
吉岡信雄	利根川菊枝	山中守	柳田裕子	新井一江
飯塚紫	久松貞子	小内国晴	早松慎二	芝千代子
正木純	渡部庄一	柴田達雄	柴田浩子	森清子
田代信恵	横川悦子	久保利夫	河田文子	内田よし子
新井敏明	上森テル子	久島久雄	木村布美子	田沼久子
加藤義父	橋本新一	榎澤正範	松浦ヒナ子	萩原正憲
吉澤菜々	森田久美子	浦野文子	鯨井昭二	泉慶一
秋山郁代	松澤典枝	田沼大輔	松本キクノ	田中紀江
齊藤千穂	神沼尊太	清水竹美	小口一弘	加藤広行
柳澤恵	小林都	渡邊サユリ	飯田力	土田友紀
川田隆生	酒井孝佳	新井雅則	里見圭司	鳥羽沙織
持田和樹	橋本美幸	権田節子	野口真紀子	小林豊子
岸本恵子	長崎宏士	伊藤美由貴	黒澤菜美	浅井純子
茂呂敏行	高月幸子	根岸健一	坂本弘道	鯨井純子
植竹喜代	小泉良子	鶴谷俊子	山崎勝	大野裕俊
			笠原鉄工所	金井茂子
			関口商店	
			佐々木金物店	
			株式会社リネス本卓也	
			シマムラ電機	
			社福サポートつばさ	
			横山会計事務所横山昌宏	
			大屋印刷株式会社	
			深谷市手をつなぐ育成会	

賛同いただけます方は、
何卒よろしくお願ひ申し上げます。
いつも応援いただき
ありがとうございます。

【法人本部連絡先】 〒369-1105 埼玉県深谷市本田3343 (電話)048-594-6511 (FAX)048-594-6512
(HP)http://nozominosono.jp 埼玉のぞみの園で検索を!各事業所のブログご覧になって下さい!!

春陽の里は、開園以来、段階的に入所者を増やしてきました。開園してまず取り組んだことは、『利用者のごことをよく知る』そして職員、利用者共に『新しい施設の日課に慣れる』ということでした。一人ひとり持ち味があり、また同じ利用者でも日中と夜間では見せる表情が違う、新たな発見を得ることができました。

現在は利用者の性格適正から日中のグループを3つに分けて作業中心、半日作業、機能訓練中心とそれぞれグループごとに、内容の構築を行っています。作業は施設内清掃、ピニールハウスでの農作業、同法人内の第2春日園より頂いているシール貼りの作業です。作業においても利用者の新たな可能性などの発見があり、どのように支援すればその可能性を活かせるかという個別支援に力を入れています。

10月より大型車両も整備しました。今後は外出の機会を増やし日々の生活に、また新たな楽しみを提供できるように取り組んでいきます。



春陽の里
萩原正憲課長



3、年齢構成 (h31.3.31現在)

①正職員年齢別分布

	~29歳	~39歳	~49歳	~60歳	合計
男	4	10	10	2	26
女	13	5	5	7	30

②準正職員年齢別分布

	~29歳	~39歳	~49歳	~60歳	合計
男	0	1	0	1	2
女	13	4	5	6	29

②正規職員の平均年齢：37.4歳

③パート等職員数(準正職含む)：126名

④60歳以上のパート等職員：55名/126名。占有比率(43.6%)です。

(次号、『本文』へ続く)

入社当時は...春陽の里はこの4月に新しくスタートをした施設でしたし、新社会人で分からないことだらけ、入所施設でしっかりと仕事をこなしていけるかどうかとても不安でした。

現在は...勤務形態にも慣れて、毎日やりがいを感じながら働くことができています。大変なことや辛いなあと感じることはありますが、周りの職員の方が助けてくださったり気にかけてくださったりするので、笑顔で頑張ることができています。

これからの夢は...地元根差した施設にしていくために地域全体で見守っていきることが出来るような環境づくりをしていきたいと思えます。



わたなべ あまか
渡邊明日香職員



くろさわ なみ
黒澤菜美職員

コミュニケーションで気をつけていること...しゃがんだりして利用者の目線と合わせるようにしています。意思の読み取りについては、ジェスチャーや日常の動きなどをよく観察し、平常時と比べることによって感情を推察しています。

予測とは違った反応になってしまったエピソード...室内の掃除をしている利用者に対し、頑張ってくださいと声をかけたが、肩をおもいっきり叩かれたこと。邪魔してしまったことに対してのことなのか？

これからの夢...親亡き後問題から発足した施設のため、利用者がこれから先、「春陽の里にまかせれば安心だ」と思っただけのような施設にしていきたいです。

春陽の里
新人インタビュー



埼玉のぞみの園で活躍中!!
シルバーさんインタビュー

第2春日園で働いている宇野さんへ
無事故無違反・長く働くコツなど
インタビューをさせていただきました。

- Q1** 現在どのような仕事をしていますか？
A: 第2春日園の農耕班でトマト栽培をしています。
- Q2** 以前はどのようなお仕事でしたか？
A: トラック運転手を34年間していました。東北地方すべてを回り、南は名古屋まで走った。昔は高速度道路なんてなかったから国道を走り、岩手県まで7時間、青森県まで10数時間かけて走り、荷物を降ろしてとんぼ返りする。そういう仕事だったよ。
- Q3** 第2春日園で働き始めたきっかけは？
A: 職員から運転手を探しているとのことで声を掛けられたのがきっかけで、初めはトラックの運転手をして、ウエスやフィンガーの材料を取りに行っていた。
- Q4** 仕事をやる中で心掛けていることはありますか？
A: まずケガをしないこと。トマトは生物だから毎日毎日変化していくためケガや病気で休まないようにしています。
- Q5** 長く働き続けるために心掛けている事、日課としてしている事などはありますか？
A: ... 1. 生活を整えること。食事毎日同じくらの時間に3食しっかり食べる。なんでも食べる。嫌いなものもあるけどね。
- Q6** 長年無事故・無違反の宇野さん
運転時のコツや心掛けていることはありますか？
A: ... 1. 自分が心掛けていることは、まず安全運転。制限速度や一時停止の所で必ず左右をしっかり確認するなど交通ルールで当たり前のことを一つ一つ当たり前にやる。体調を整え運転をすることが大切だと思っています。
- Q7** 若い世代の職員にアドバイスをお願いします。
A: ... 辛抱強くやること。与えられた仕事を辛抱強く、我慢してやること。



みんなに慕われる
宇野辰也さん(79歳)です!

生物多様性アクション大賞 2019



**国連生物多様性アクション大賞 2019
審査員賞を受賞しました**

**障害福祉サービス深谷たんぽぽ
「障害者と共に育む食用薔薇」受賞！**
12月5日、東京ビックサイト
右：山崎理事長

深谷たんぽぽでは、利用者と共に有機無農薬で食用薔薇やハーブを栽培しています。栽培環境を取巻く全ての生きものが住みやすい環境を整え、食物連鎖等を手早く活用した農業を展開している事が、評価されました。

SUBARU関連労働組合連合会様より 福祉車（シフトランスケア）を寄贈いただきました



**マメ知識コーナー
～パッド・オムツ編～**

◆忘れにくくなるポイント
1 立体ギャザーを立てる（堤防の役割）
2 スポット吸収（パッドを尿道口に近づける）
3 テーフライプの場合はテープを斜めに止める



◆オムツとパッドを併用するメリット
・衛生的（こまめに交換でき、肌への負担が少ない）
・経済的（吸収量の多い大人用オムツを買うよりも安い）
・交換しやすい（ズボンを脱がなくても交換でき、外出時こまめに交換できる）



SUBARU関連労働組合様からの募金（金額が固定されていた訳ではなく、1円からお札まで自由な募金だったとの事）が集まり車両代金として、ご寄贈くださったそうです。

皆様の善意の想いに叶うべく、大切に使用して参ります。SUBARU労働組合連合会の皆様、障害福祉に目をとめて頂きまして、本当にありがとうございました。



**オープニング特徴
（セット）2,000円**

献上ガレット・オーガニックハーブ珈琲（ローズマリー珈琲/ラベンダー珈琲）セットです。贈答用にも最適ですよ(^_^)！

深谷たんぽぽ
Tel.048-572-1668 担当：持田

大好評！新鮮トマトできました！
今年は12月から販売開始しています
♪ご予約頂いた方が確実です。

第2春日園
Tel.048-583-5451 担当：笹井



特集 春陽の里

お陰様でオープンして半年たちました。

1. 春陽の里の紹介

「障害者支援施設 春陽の里」は、計画から6年を経て、今年4月に開園致しました。親亡き後を見据えた施設で、主に知的障害者が入所し生活する施設です。更に、地域交流室や安心コールセンター等を併設し、地域密着型の福祉施設を目指しています。

定員は、入所支援（24時間施設を常時利用して生活する方）30名・生活介護（日中施設を利用し生活する方）40名・短期入所（緊急時等で宿泊利用する方）10名。

現在は、入所27名・生活介護28名・短期入所数名の方が利用しています。当法人では、知的障害者の入所施設が初めてで利用者・職員がまずは環境に慣れることが重要と考え、4月19名・5月9名と段階的に入所入所を行いました。短期入所においては、8月から予約受入れを開始し、現在では1日2〜3名が利用しています。

2. 6カ月が経過して

開園して半年となりますが、多くの事を考えさせられた6カ月間があります。何をやって「これで良いのか？」「利用者・家族の安心とは？」「初めて福祉分野で働く職員へのフォローとは？」「入所施設の今後の在り方とは？」等々、答えを求めて自問自答・試行錯誤を繰り返す日々です。しかし、親元を離れて入所した利用者、入所を決められた親等の心境、新施設で働く職員等、全てが初めてであり、全員が不安



**春陽の里
鯨井昭二施設長**

や悩みを抱えてのスタートであることから、協力し合うことが利用者のためであると考えています。片寄った情報や思考の支援ではなく、わからないことは聞き・何か起これば連絡・確認する等様々な角度からアプローチし、根拠ある支援として活用することが重要な時期と考えています。更に職員には、「何度でもチャレンジする力」「自分から変わる力」この2つがとても大切と考えています。一度の支援で成功することは私の経験上ほとんどありません。「10の支援を行い1つ成果がでた」これに喜びを感じてもらいたい。又、相手が成長するためには自分が成長し変化しないとうまくいかない。この2つの力を支援を通じて身につけてもらいたいと強く願っています。

人も組織も右肩上がり順調に成長することはなく、悩み・試行錯誤し成長していきます。悩み・不安・失敗を恐れず、試行錯誤を継続していくことが今の春陽の里にとって重要であると考えています。ご家族、ご関係者の皆様、今後とも宜しくお願い致します。

**11/26
埼玉県社会福祉大会会長表彰受賞**

のぞみの園ホーム 福島君江
この度、会長表彰を頂きまして身に余る光栄と考えています。「欠点」ではなく「特徴・個性」としてとらえ、利用者や周囲の方との絆を大切にしたいと考えています。よろしくお願いたします。